

西

夏の尾を熱く彩る 西尾祇園祭



西尾祇園祭が7月14日・15日の両日、市街地や西尾駅西広場周辺を会場に繰り広げられ、延べ20万人が訪れました。

14日には「祇園祭」として大名行列をはじめ、獅子舞やみこしなどが練り歩きました。15日には市民総踊り「踊ろっ茶・西尾」が行われ、総勢約2,000人がパワフルな踊りを披露。参加者の熱気に包まれた2日間となりました。



大

鯛が泳ぎ、大輪が咲く 宮崎ぎおん祭りと吉良花火大会



7月28日、宮崎ぎおん祭りと第24回吉良花火大会が、吉良ワイキキビーチ一帯で行われました。

海岸通りに姿を現した大鯛みこしは全長約9m、重さ約800kg。海の安全や漁業の繁栄を願うこのみこしを若衆約100人が担ぎ上げ、右へ左へと道いっぱい泳ぐように練り歩いていました。

花火大会では宮崎漁港の上空に約1,700発の花火が打ち上げられ、訪れた約2万2,000人を魅了しました。鮮やかな大輪が次々と夜空を彩るたび、観客からは大きな歓声が上がっていました。



7/21 干潟の生きもの観察会



市内外から訪れた11組の親子が前島（東幡豆町）の干潟でマテガイ採りなどを楽しみました。

7/22 みどり川クリーン作戦
1000人クリーン作戦

▶「コイの群れ遊ぶ清流へ」を目標にみどり川を清掃。



◀きれいな宮崎海水浴場で楽しんでもらおうと800人が参加。

7/26 画家斎藤吾朗氏の油絵が寄贈されました



全6点が市役所や吉良町公民館などに寄贈され、斎藤氏から絵の説明が行われました。

7/28 YOMISEウキウキ通り2012

一色町の中心部にある商店街を会場に行われ、多くの人でにぎわいました。



7/28 西尾東高校がベスト4入り

第94回全国高校野球選手権愛知大会で、西尾東高校が創部以来初、市内の高校としても41年ぶりとなるベスト4入りを果たしました。

手 作りいかだで東幡豆港を疾走！
はずストーンカップ2012



7月29日、東幡豆港で「はずストーンカップチャレンジレース2012」が行われました。今回で16回目となる本大会。総勢57チームが参加し、熱いレースが展開されました。手作りのいかだに乗り込んだ選手たちは、力いっぱいオールを漕ぎ、水しぶきを上げながら疾走。その白熱した戦いに海岸からは大きな声援が送られていました。また、今回はゲストとして寺部町出身の俳優・南翔太さんが来場。飛び入りでレースにも参加し、大会を盛り上げていました。優勝チームには幡豆石で作ったストーンカップが贈呈され、会場には歓喜の声と選手を称える拍手が響いていました。



老 若男女が楽しみました
MANABIフェスタ

8月3日から5日にかけて一色学びの館においてMANABIフェスタが開催されました。人形劇や映写会にはよく日焼けした子どもたちが詰め掛け、古本の無料リサイクルバザーには好みの本を求めて多くの人が訪れました。

3日には子ども一日司書が行われ、小学4～6年生の児童10人が本の貸出や返却、整理など司書の仕事を体験しました。

5日には愛知教育大学落語研究会の皆さんによる落語会が行われ、漫才や落語、大喜利が繰り広げられると会場には大きな笑い声が巻き起こっていました。



今月の表紙

7月29日に行われた第16回はずストーンカップチャレンジレース2012。約100mの速さの頂点を目指すスプリントレースには46艇が参加しました。表紙はD1Y部門の一戦。2艇とも激しく競り合いながら、ゴールを目指してがむしゃらにオールを漕いでいました。

編集 雑記

数々のイベントが行われた西尾の夏も終わりを告げようとしています。この夏はロンドンオリンピックも行われ、スポーツの夏でもありました。全国高校野球選手権愛知大会では西尾東高校が快進撃。ベスト4入りを果たし、広報担当も準決勝の取材に出掛けました。その翌日、とある全国紙の愛知版に「西尾市職員が取材」との見出し。取材に行ったことが取材され、記事になってしまいました。しかも主役の準決勝の記事に引けを取らない大きさで…。申し訳ないです。(み)